



AQU 先端テクノロジー総研 《ニュースリリース》 2011/1/12

報道関係者各位  
プレスリリース  
2011年1月12日

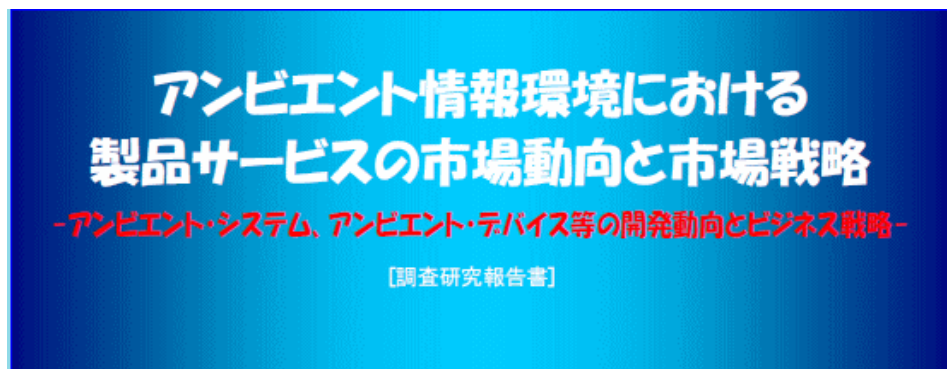
お世話になっております。  
AQU 先端テクノロジー総研と申します。  
ニュースリリースをお送りしますので、よろしく願いいたします。

**未来社会、アンビエント・ビジネスの可能性を多面的に調査、AQU 先端テクノロジー総研**

『アンビエント情報環境における製品サービスの市場動向と市場戦略  
-アンビエント・システム、アンビエント・デバイス等の開発動向とビジネス戦略-』

<http://www.aqu.com/ambient-research/>  
<http://www.aqu.com/aqu-news/2011-1-12.pdf>  
<http://www.aqu.com/ambient-research/sample-1.pdf>  
<http://www.aqu.com/ambient-research/ambient-business.pdf>  
<http://www.aqu.com/>

調査概要 HP  
ニュースリリース  
内容サンプル  
ビジネス構想  
メインページ



★ このたび、先端ビジネス市場の調査コンサルティング会社である、AQU 先端テクノロジー総研（AQUARIUS 最先端研究所）（千葉市中央区、代表、子安克昌）は、調査報告書『アンビエント情報環境における製品サービスの市場動向と市場戦略-アンビエント・システム、アンビエント・デバイス等の開発動向とビジネス戦略-』を発売いたしました。

同調査では、来るべき未来のアンビエント情報社会、アンビエント社会構築へ向けて、関連する製品サービスの研究開発動向、市場動向、市場展望をリサーチするとともに、利用者の安全、安心、快適な環境を創出するアプリケーションの開発が重要であるため、サービス価値ある製品サービスについてアンケート調査を実施しました。

アンビエント関連のシステムサービスの関心度では、自動車・交通、健康管理・ヘルスケア、高齢者・子供の見守り、スマートグリッド・スマートシティなどが上位となりました。また身近な製品では、アンビエント空調、健康支援、行き先支援ナビゲーター、アンビエント冷蔵庫などが上位となりました。

「アンビエント・インテリジェンス(Ambient Intelligence)」（環境知能、環境知性）という言葉が欧州を中心に広まって以降、国内でも、ユビキタス研究の進化とと

もに、センサーネットワーク、MEMS、アンビエントテクノロジー、あるいは空間の知能化、空間の生命デザインといった研究が行われてきています。

今後の未来市場の特徴として、

- ・ ユビキタス社会からアンビエント社会へ。安心、安全、快適に加え、環境との調和、思いやりを利用者は求める。
- ・ PCだけでなく、モノとモノがつながる時代へ。アンビエントデバイス需要も拡大へ。

といった点を明確にとらえることができました。

さらに、同調査では、これらの最先端の市場動向調査をふまえ、アンビエント未来社会へ向けた、製品サービスの提案を以下のように行っています。

1. 思い出記録・追体験システム
2. アンビエント・テクノロジー応用製品サービス事例研究
3. ライフログ製品サービス企画構想
4. 五感にひびく、次世代オフィス環境の創造
5. 五感ビジネスの可能性、香りビジネスの未来展望

ユビキタス情報社会に続く、アンビエント情報社会におけるビジネスの可能性を多面的に分析した調査レポートが皆様の未来戦略に貢献できましたら幸いです。

---

## 関連情報

---

はじめに

ユビキタス社会ではユーザーが意識して、コンピュータにアクセスするが、次世代の情報社会では、コンピュータがユーザーを感知理解し、自律的に働きかける、といわれている。ユビキタス社会の次世代として、アンビエント社会という考え方がしだいに、認識されはじめており、基盤技術の研究ならびに未来型関連製品サービスへの関心が高まりつつある。

「アンビエント・インテリジェンス(Ambient Intelligence)」(環境知能、環境知性)という言葉が欧州を中心に広まって以降、国内でも、ユビキタス研究の進化とともに、センサーネットワーク、MEMS、アンビエントテクノロジー、あるいは空間の知能化、空間の生命デザインといった研究が行われてきている。

最近では、「環境、エネルギー、高齢化社会、医療や介護等の社会的課題を解決するには、実世界情報をそのまま大量に処理する新たな仕組みが必要である。身の回りで通常目にする普通の機器に多様且つ大量の入出力素子の機能を作り込んだ「アンビエント・デバイス」により、環境やエネルギー問題等を踏まえて、将来の情報機器、家電、通信システム、流通、医療等の産業に寄与するヒューマン・セントリックな情報社会を実現しなければならない。」といった考え方により、アンビエント社会の基盤づくりの研究を進める研究者が増えつつある。

当調査では、来るべき未来のアンビエント情報社会、アンビエント社会構築へ向けて、関連する製品サービスの研究開発動向、市場動向、市場展望をリサーチするとともに、利用者の安全、安心、快適な環境を創出するアプリケーションの開発が重要であるため、サービス価値ある製品サービスについてアンケート調査を実施した。アンビエント関連のシステムサービスの関心度では、自動車・交通、健康管理・ヘルスケア、高齢者・子供の見守り、スマートグリッド・スマートシティなどが上位となった。また身近な製品では、アンビエント空調、健康支援、行き先支援ナビゲーター、アンビエント冷蔵庫などが上位となった。

一方、アンビエント研究の最前線では、ICT(Information and Communication Technology)研究とともに、ナノ、バイオ、生命科学あるいは建築設計、五感・感性など幅広い研究との連携が見られており、その最先端の研究には感銘する点が少ない。たとえば、空間の知能化および生命化デザイン、パラサイトヒューマンなどである。これらは未来社会の最先端の領域で大きく貢献する技術・構想である。

アンビエント情報社会、アンビエント社会は人間の生活の質（QOL）を向上させる社会である、ととらえることができる。アンビエントインテリジェンス、アンビエントデバイス、アンビエントコンピューティング、アンビエントコミュニケーションといった概念が、環境、グリーン、共生といったものと深く結びつき、社会に安心、安全、快適、思いやり、優しさといったものを想起させていくような取り組みにより、アンビエント情報社会は、より早く人々の心の中に入ってゆくことだろう。

当調査は、アンビエント情報社会に着目。関連製品サービスとして、アンビエント端末・アンビエントコミュニケーションシステム、次世代オフィス・次世代住宅（知能化）、植物工場、ライフログサービス、スマートグリッド・スマートシティ、また基盤技術関係として、センサーネット、RFID、MEMSセンサー、IPv6の最新の動向を取り上げた。当調査が貴社のビジネス開発、研究開発、製品サービス開発に少しでも寄与できれば幸いである。

AQU 先端テクノロジー総研

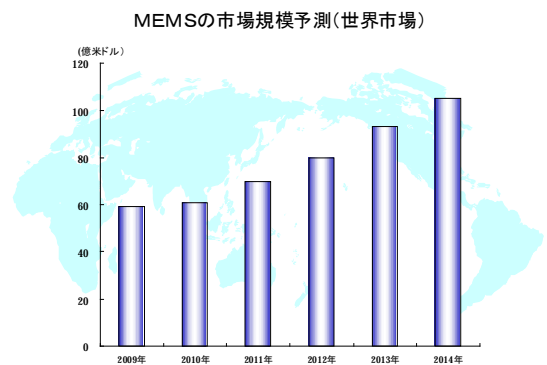
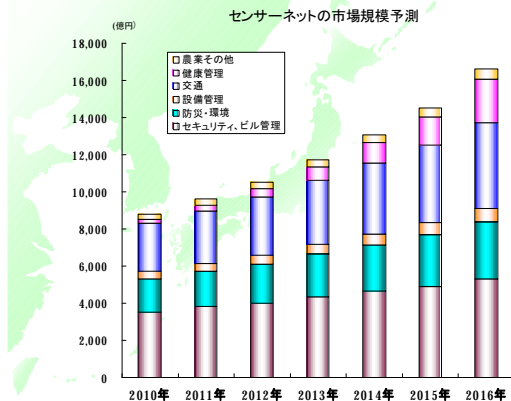
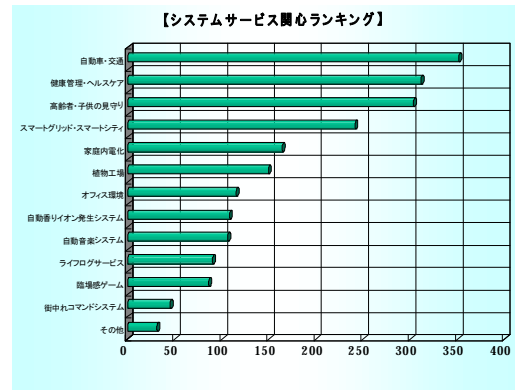
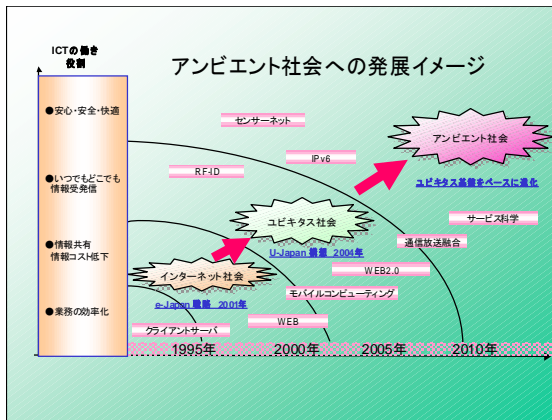
【調査概要】

■ 調査テーマ

**アンビエント情報環境における製品サービスの市場動向と市場戦略**  
**-アンビエント・システム、アンビエント・デバイス等の開発動向とビジネス戦略-**  
**【調査報告書】**

【調査ポイントの一例】

▼ユビキタス社会からアンビエント社会へ。安心、安全、快適に加え、環境との調和、思いやりを利用者は求める。



▼PCだけでなく、モノとモノがつながる時代へ。アンビエントデバイス需要も拡大へ。

- 調査スケジュール
- 調査担当

2010年9月1日～2011年1月9日



Marketing & Consulting for the mission  
株式会社AQU先端テクノロジー総研  
AQU Technology Research Institute, Inc.  
アンビエント情報環境・製品サービス調査プロジェクト  
<http://www.aqu.com/ambient-research/Info@aqu.com>

◆ レポート体裁

プリント製本 A4 版、PDF ファイル 385 頁  
ISBN 978-4-904660-14-0

◆ 価格

セット定価 ¥199,500.- (本体 ¥190,000.-、消費税 ¥9,500.-)

- |   |                 |                |
|---|-----------------|----------------|
| <input type="checkbox"/> 報告書製本版 + CD (PDF電子データ) | ¥190,000.- (本体) | ¥9,500.- (消費税) |
| <input type="checkbox"/> 報告書製本版 のみ              | ¥95,000.- (本体)  | ¥4,750.- (消費税) |
| <input type="checkbox"/> CD (PDF電子データ) のみ       | ¥180,000.- (本体) | ¥9,000.- (消費税) |

(報告書は全ページカラー出力)

◆ 2011年1月発刊

◆ 調査編集発行 株式会社 AQU 先端テクノロジー総研

※その他の関連調査報告書

【特別調査報告書】

◆ タイトル

『新世代ネット端末、新ネットサービスの市場動向と市場戦略に関する調査  
- Android搭載機器、新ネットサービスの市場展望と予測、ビジネス戦略 - 』  
<http://www.aqu.com/new-generation/> (専用ホームページ)

◆ タイトル

『新プラットフォームにおけるビジネス市場展望と今後のモバイル戦略  
- スマートフォン関連の市場動向とビジネス新潮流、ビジネスチャンス - 』  
<http://www.aqu.com/new-platform/> (専用ホームページ)

◆ タイトル

「あるべき未来からの発想、『先端ビジネス市場の未来戦略』  
- 感動価値創造製品の構想と市場展望 - 』  
<http://www.aqu.com/mirai-business-strategy/> (専用ホームページ)

※お問い合わせ連絡先

\*\*\*\*\*

株式会社 AQU 先端テクノロジー総研

<http://www.aqu.com/>

〒260-0027 千葉市中央区新田町 36-15

千葉テックビル 6F FLPC

TEL 043-204-1258

FAX 043-204-1316

子安、那須

[info@aqu.com](mailto:info@aqu.com)

\*\*\*\*\*